

第 42 回神奈川県立座間谷戸山公園 現場研修会報告

—テーマ：湿地環境の維持管理—

朝にはポツポツと雨も落ちていましたが、研修会開始時には雨もすっかり上がりました。今回の研修会は、湧水の谷の水生生物調査南谷戸の棚田の植生管理、北谷戸の水路再生です。



今日1日の作業内容を説明して研修会スタートです。まずは湧水の谷の水生生物調査から。



元々ホトケドジョウの生息場所であったこの場所に、現在どのような生きものが生息しているのかを確認するための調査を行いました。



残念ながらホトケドジョウは見られず、ギンブナ、モツゴ、ヨシノボリ、ミズカマキリ、マツモムシ、スジエビ、アメリカザリガニなどが確認されました。



アズマヒキガエルがたくさん集まって繁殖行動をしていました。春に行われる繁殖行動は10月も終わろうとするこの時期にはあまり見られない行動です。どうしたのでしょうか？



続いて、南谷戸の棚田の植生管理です。昨年造成されたところですが、1年で植物に覆われてしまいました。



これでは多様性が失われてしまいます。
今回はガマを中心に除去していききました。



ガマは地下茎をのぼすので地上部を刈っただけではまた来春出てしまいますから、
しっかり地下茎ごと抜きます。



そうして、開放水面、湿地状、植物の疎らな所、
藪状の所など、様々な環境を維持することで
多様性に富んだビオトープとなります。



午後は恒例の「最近気になった環境に関するニュース」の発表からスタート。
そして、北谷戸の水路再生です。



ここは北谷戸の湧水が流れている場所なのですが、すっかり泥に覆われてどこが水路だか分かりませんね。かなり陸地化してきています。



まずは泥を掘っていきます。
でも、掘ってもすぐに埋まってしまう。



それでも掘り続けると、少しずつ水の流
らしきものが見えてきました。



樹林管理で出た間伐材を使って杭をつくり・・・



その杭を水路沿いに打ち込んで、さらに、
杭の山側に粗朶を渡していきます。
ちゃんと流れが復活していますね。



最後に、間伐材の枝葉を粗朶の隙間に詰めて
土留めの完了です。この水路は湧水までつなげて
将来ホトケドジョウの生息地の一つとなる予定です。

これで今月の現場研修会は終了です。参加者の皆さんお疲れ様でした。
次回もこの水路の再生作業を行う予定です。樹林の管理や、ホトケドジョウのビオトープ復活に
向けた作業などに興味のある方は是非次回の研修会に参加してみてください。